

企業課題

- ① 直売所“ふたりのマルシェ”の集客やSNSのフォロワー数を増やす方法(野菜の魅力の伝え方)
- ② 学生(若者)に農業の魅力伝え働いてもらうには
 農業の人手不足が深刻な問題になっているなかで、新規就農者、雇用就農と農業へ関心を寄せる人は増えている。もっと積極的に農業・野菜の魅力を伝え農業のFAN、農業にかかわる人口を増やすことが重要である。
 まずは、農業と生活者の接点である、マルシェ・野菜直売所の情報発信を強化し、フォロワーを増やすことができれば、もっと現場の魅力ある情報を伝えることができ、集客を増やし売上も向上させていける。
 そこで、時代の流行を作る若者にも興味を持ってもらえるような、情報発信の方法や内容アイデアをいただきたい。

中間報告概要

- 直売所の集客、SNSフォロワー数アップの方法について
 - ・直売所の場所を誰でも集まりやすい場所に変える
 - ・SNSの存在自体を知ってもらうため、QRコード付きチラシを作成
- 学生に農業の魅力を伝える方法
 - ・次世代農業(スマート農業)体験、気軽な農業アルバイトの実施等
 - ・学内でアンケートの実施を予定し、若者の考えを調査する予定



【提案内容に対する企業からの要望】

- ・アンビシャスファームのターゲット層や若者へアプローチをするために、マルシェの出店先はどこが適しているのか、候補地を具体的に検討して欲しい。
- ・SNSを知らない人にはどうやってインスタ情報を知ってもらえば良いのか。
- ・スマート農業は、農業の負のイメージ払拭に非常に有効だと思うが、アンビシャスファームの農業形態では導入は適さない。しかし芋掘り体験ばかりだと3Kのイメージ脱却を図れない。
- ・若者は、農家からどんな情報を得たいのかを知りたい(農作物情報、働き方、環境等々)

最終報告(課題解決策)概要

- 直売所“ふたりのマルシェ”新たな出店場所、SNSの活用方法
 - ・地域に根ざした強みを活かせること、交通手段が充実していること等から、江別市内のEBRIのほか、大通公園で開催されるオータムフェスト等のイベント参加、イオン等複合施設への出店を提案。
 - ・学内アンケートにより、SNSの中で学生が最も利用しているのはTwitterであることが判明。
 Twitterの導入・野菜販売のお得なフォロー・リツイート企画を実施し、情報を拡散することで新規のフォロワーを獲得する。
 - ・学生がSNSを見る時間帯に、Instagramの「投稿」に加え、「リール」「ストーリー」「タイムラプス」機能を使い、学生の興味のある内容(野菜の保存方法、育て方、調理方法等)を発信することで学生や若者へアプローチする。
- 農業の魅力の伝え方
 - ・「食」からのアプローチを提案。飲食店とコラボし、「アンビシャスファームを知ってもらう」→「SNSアカウントを知る」→「農業の魅力を知る」という連鎖を狙う。
 - ・若者に働いてもらうためには農業の負のイメージが問題となるが、実際の労働環境(雰囲気、作業内容、技術の習得等)が自分に合うと分かれば、就農意欲が向上すると考えられるため、アンビシャスファームの日常、作業内容をSNSで発信することを提案。

AmbitiousFarm (株) と小八重ゼミの取組の様子

企業見学会 (Zoom開催)
10月13日 (水)

中間報告会 (Zoom開催)
11月8日 (月)

最終報告会 (対面開催)
12月13日 (月)



事業参加後のコメント (一部抜粋)

学生スピーチ
(抜粋)

- 実際に働く経験をさせていただき、農業に対してイメージがガラッと変わり、こんなに自分の食の裏側で、沢山の人が動いてくださっていて、それらに関わっていることは、本当に楽しいですし、本当に知ることができて良かったと思うことが沢山ありました。そして自分自身も、今までは考えていなかった、農業に関係する仕事に就きたいという夢を持つきっかけにもなりました。
- お客さんと直接、関われる機会を頂くことができたので、お客さんに販売することが、どれだけ熱意を持ってやるとお客さんにも伝わるのかということを学ばせて頂いたので、とても感謝しています。

企業講評
(抜粋)

マルシェにも参加していただきましたし、マルシェの日には朝畑に来ていただいて、収穫から本当にリアルなところを体験していただいて、だからこそできる提案がとてもあって、今日からでも取り組める内容がすごくあって、驚いたのと、この二つのテーマは、僕が起業して、仲間と一緒にやっている中で、メインテーマというか、アンビシャスファームが存在する意義でもあり、次の世代により良い形で農業を繋ぎたいという思いを持って日頃農業しています。

自分達が気づくところは、今まで取り組んできた内容ではあったんですけど、それプラスアルファの新たな視点で、学生達だとか、今、取り込むことができてない若い方に対して、どうアプローチをするかということが、とても良く理解できましたし、参考になりました。

担当教諭
コメント
(抜粋)

柏村さんの出してくださったテーマは二つあって、野菜の魅力を伝えることと、若者を農業に呼び寄せるため、興味を持ってもらうことの二つ、いずれも私が普段から思っている「ど直球」のところ。

経営のところ、コンセプトとして恐らく凄く大事に思われている、アンビシャスファームさんのテーマが一つ。

あと、この農業って、これから農業者どうやって増やしていくかっていうことで大変なところですね。

その二つのテーマが使えるということで、私自身凄く楽しみにしていたんですけど、これは私の研究室一つで対応するよりは、せっかく三つの研究室、三つの学類がありますので、そこで選りすぐりの、本当スーパースター達だと思うんですけど、集まってもらって、何とか対応することができたと思います。

※コメントについては読みやすいよう、重複した言葉づかい、明らかな言い直しなどを整理しています。